

不正スタートについて

～1回失格ルールを見据えて～

国際大会や日本陸連主催大会などでは、不正スタートが1回で失格となるレースが実施されています。今年度からは、より厳密にスタート動作について、ケース別の設定が示され、これまでは「注意」で済まされていた動作が、「警告」の対象となるケースも出てきました。

■不正スタートの見解（国際陸連の見解）

不正スタートとは、一般に、号砲前にスタート動作を開始することを示します。

現行ルールでは1回目で失格になるため、国際陸連から不正スタートに関連して以下の条件が示されました。

足がスターティングブロックのフットプレートから離れない、または手が地面から離れない限り、競技者の動作はスタート行為の開始とは見なされない。

このことにより、上記にあてはまらない動作を「不適切な行為」として、警告の対象とすることになります。

■不適切なスタート動作（警告の対象となるもの）

(1) “On your marks” の時

- ① なかなか位置についての姿勢を取らない。
- ② 身体を止めない。
- ③ 手を挙げてスタートを中断させる。

(2) “Set” の時

- ① 速やかに最終のスタート体勢に構えない。(腰を遅く上げる)
- ② 最終のスタート体勢で静止しない。
- ③ 一旦静止した後で動く。(局所的な一瞬の動きを含む)
 - a) ぴくっと動く(ツイッチ)
 - b) 身体が沈み込む
 - c) 身体が前に動き出す(ロックキング)
 - d) 両手がガタガタと動き出す
 - e) 足がスタブロに固定できずずれ落ちる など

■不適切なスタート動作（注意の対象となるもの）

① 声を出して位置につこうとする

※他の選手への威嚇行為とみなされた場合、警告となるかもしれません

② 膝をつかない

③ 手がスタートラインの上にある など




■警告をうけると

同じ選手が2回警告を受けると、1回の不正スタートとなります。2回目失格ルールの場合、同じ選手が3回目の警告を受けた場合、失格になります。

号砲の前に、競技者が両足をブロックから、あるいは両手を地面から離してスタート動作を開始したと判定した時は、号砲前・号砲後に関わらず、全て「不正スタート」として扱われます。(つまり、これまでは注意ですませることもあった号砲前の飛び出しは、すべて不正スタートとなります)

一方で、号砲の直前に、競技者の動きに気付いたが、間に合わずにピストルを撃った場合は、「両手が地面についている」「両足がスターティングブロックについている」ことの両方が明らかに確認できた場合、「不正スタート」とならず「警告」になる場合があります。

■不正スタート、不適切な行為で失格になる実際の例

| | |
|--------------------------------------|---|
| 1 回 で 失 格 | <p>○ 1 回の不正スタート→失格 Aが不正スタート  … Aが失格</p> <p>○ 同じ競技者が 2 回目の不適切行為による警告→失格 Bが不適切行為  — Bが不適切行為  … Bが失格</p> |
| 2 回 目 以 降 が 失 格 | <p>○ 2 回目以降の不正スタート→失格 Cが不正スタート  — Dが不正スタート  … Dが失格</p> <p>○ 同一競技者が警告を 2 回受けた後に不正スタート→失格 Eが不適切行為  — Eが不適切行為  — Fが不正スタート  … Fが失格</p> <p>○ 1 回の不正スタート後に、同一競技者が 2 回目の警告→失格 Gが不正スタート  — Hが不適切行為  — Hが不適切行為  … Hが失格</p> <p>(始めに 1 回目の警告、次に不正スタート、その後の 2 回目の警告でも適用) Hが不適切行為  — Gが不正スタート  — Hが不適切行為  … Hが失格</p> <p>○ 警告 2 回が複数名出る (警告 2 回が 2 人目以降) →失格 Iが不適切行為  — Iが不適切行為  — Jが不適切行為  — Jが不適切行為  … Jが失格 ※ 順番は問わない</p> <p>○ 同一競技者が警告 3 回→失格 Kが不適切行為  — Kが不適切行為  — Kが不適切行為  … Kが失格</p> |

■出発係によるカード提示の種類

失格 ……  警告 ……  スタート機器のトラブル等 …… 
競技者に責任のない場合

■中学生の適用状況 ※ 2013.05.14 現在

1 回失格が適応させる大会

- ・全日本中学選手権大会、ジュニアオリンピック
- ・和歌山陸協が主催する競技会・記録会で、高校生以上の種別設定された種目

2 回目失格が適応させる大会

- ・通信陸上、和歌山県中学校総合体育大会、県中学秋季大会
- ・和歌山陸協が主催する競技会で、中学生の種別設定された種目
- ・各地方での競技会・記録会

近畿大会については、5 月末に近畿ブロックの専門委員長会が予定されており、その会で今年度方向が示されることになる予定です。